

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイ』の『いきいきモーニング』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉事務局
☎049-230-1111(FAX230-1112)

ご家族の声

誇り高かった母が壊れていき、

私の母は、来月八十九歳になります。医者の娘という幸せな少女時代を過ごし恵まれた結婚をしましたが、戦争で夫を亡くしました。その後再婚して男子をもうけました。

後年、開いた書道塾に熱中し、また私と海外旅行を楽しむ等、心の余裕も出来たようです。しかし姑を看取り、入退院を繰り返した父の介護に苦労も多かった事を思います。その父も八年前に亡くなり一人暮らしをするようになりました。しかし私も弟も遠くに住んでおり、旅行や食事や私の家に泊まりに来る以外は一人ぼっちで淋しかったことでしょう。父の没後三年位から少しおかしな言動を見せるようになったので、私が母の所へ通い、病院に連れて行ったり、ヘルパーさんやデイサービスをお願いしたりしていました。

その内自分の家で「トイレはどこ」と聞くようになり、ついには母の髪染め中、一瞬目を離したすきに染液を食べてしまい「ああ、もう私の手には負えない」と。

ない」と。誇り高かった母が壊れていき、介護がこんなにも大変なものかと心身共に疲れ果て、ある時主人と弟に電話して「私、ママを手にかけてこれから帰る」と言った事もありましたが、私はそう言ったらすっきりしいつも通り介護しました。

その頃福音の園を知り見学した時、ホーム長様の理念やスタッフの方々の献身的な介護に惚れ込み、是非ここでお願いその場で申し込みさせていただきました。その願いも思いの外早く叶えられ決まった時、私はありきたりのお礼の言葉しか言えませんでした。人間はあまりにも思いが深すぎると適切な言葉が出ないのだということがよくわかりました。

今、改めて福音の園の皆様方に厚くお礼申し上げます。そして、私が罪を犯すことになったかも知れないところを受け入れて下さって、救っていただき本当に有難うございました。

最近、中高年の人が一人で親を看っていて、つい手にかけてしまったというニュースを見聞きすると本当に身につまされます。入れていただいた丁度その頃、母は自分の住所「川越市〇〇町〇〇番地 ミス神戸」と日に何度も言っていました。以前、知人がミス神戸になったと話したのを自分がミス神戸と思ひ込むようになり、それが住所の一部と化してしまいました。でも園に入れていただいていたからはずっかり生活にも慣れ落ち着き、そのような事は言わなくなりました。その上お友達が出来、前よりも健康になりました。

今の母と私の心の平安は全て福音の園のおかげです。波乱に富んだ半生を送った母が安心して笑って過ごせることが私にとっての最大の喜びです。有難うございます。今後共どうぞ宜しくお願いいたします。感謝をこめて



マザー・テレサの言葉より

わたしたちは忙しすぎます。ほほえみを交わすひまさえありません。ほほえみ

ふれあいを 忘れた人がいます。これはとても大きな貧困です。

たいせつなのは どれだけたくさんのことをしたかではなく どれだけ心をこめたかです。

視察来訪者の声

終の棲家で穏やかに生活できる時間と空間

「住まいから福祉を考える会」代表 花見 康雄
三月七日は好天に恵まれ、川越の散策とGH「福音の園・川越」の視察は実り多く、素晴らしい一日でした。

杉澤ホーム長が熱く語って下さった利用者本位の生活には、羨ましい思いがありました。どこの施設も目指している利用者本位の生活ですが、人手不足や費用不足、施設環境が不十分というようなマイナス要因が複数あります。GH「福音の園・川越」では様々な工夫と園芸療法など結果を表わすための縁の下の方力持ちが、施設長はじめスタッフの熱意と実践力の賜物と実感いたしました。利用者の穏やかな様子と特有の臭いがない環境、小鳥がむらがる菜園と屋上の花壇等々、皆様の成果を見せて下さった半日でした。認知症の人にとって終の棲家で穏やかに生活できる時間と空間は不足だらけですが、ますますグループホームが貴重だと学びました。

来訪歓迎 大和キリスト教会様(神奈川県大和市)

御礼 タオル二枚 近江屋呉服店(北條浩司)様(麻布)

鮮魚・タケノコ 〇〇〇〇様(千葉県鴨川市)